



真剣に学ぶ学校

校長 中根 隆弘

表題は、本校における“四つの誇り”の一つです。これまで5・6・12月号において、他三つの誇りについて触れてまいりました。今回は、その最後の一つである「真剣に学ぶ学校」にちなんで、以下のことを取り上げました。

先日、ある学年通信を読んでいましたら、次のようなことが書かれているのを目にしました。

(略)～「これを学ぶと何か役に立つんですか？」と聞いてくる人がよくいますが、学んだことを役立てるか役立てないかは皆さん次第です。～(略)

「これを学ぶと何か役に立つんですか？」・・・、この気持ち、とてもよくわかります。私もそう思ったことがありますし、きっと多くの人たちが同じようなことを感じた時期があったのではないのでしょうか。

さあ、この難題・・・「これを学ぶと何か役に立つんですか？」・・・このことにどう答えましょうか？ どう答えたら納得してもらえるのでしょうか？ 私なりに考えてみました。

皆さん、川口市立芝西中学校陽春分校をご存知でしょうか。平成31年4月に、埼玉県内初の公立夜間中学校として開校した学校です。どのような学校か・・・？ 年齢や住まい、国籍など多くの垣根を取り払い、学びたいという人は誰でも安心して通うことができる学校です。

私は、昨年の暮れにその夜間中学校を見学する機会をいただきました。そこでは、ご高齢の方から生徒の皆さんとそう変わらない年齢の方、外国籍の方、実に様々な方々が通っていらっしやいました。

「これを学ぶと何か役に立つんですか？」・・・自分だったらどう答えるかを考えていたら、ふと、この夜間中学校を見学させていただいたことを思い出したのです。と言いますのは、“人間が学びに向かう原点”を夜間中学校で感じ取ったからです。通学している方々は決して誰かに頼まれたり強制されたりしているわけではありません。純粋に‘学びたい’という一心で自ら入学を希望し通学しているのです。

このように人間は、‘学びたい’という欲求を誰しもがもっているのです。生徒の皆さんも、勉強をする中で「なんで?! どうして?! 知りたい!!」と思うことがあるでしょう。それこそが学びの欲求の表れなのです。

ここで「これを学ぶと何か役に立つんですか？」の私の答えです。→「役に立つか立たないか、それ以前に、実はあなたは学びの欲求を無限に持っているのです。今は、勉強の機会が自然に与えられ膨大な学習量をこなしているから気付かないだけです。きっと将来どこかでその答えを自分自身で発見するでしょう。ですから今は一生懸命に勉強しておきましょうよ。」・・・

インターネットにおいて‘勉強の意義’で検索したら次のような答えがヒットしました。→自分自身を成長させ、人生の選択肢を増やし、結果として人生を豊かで幸せなものにする可能性を高める。・・・なるほど！ もっともな答えですね。

戸塚西中の生徒たちは授業にとっても真剣です。このことは、4月の当初からずっと感じていました。これから「真剣に学ぶ学校」がさらに誇りとして感じられる学校となることを願っています。もし「勉強、やる気が起きないなあ～」と感じる人がいたら「勉強は自分のため」ではなく「人のため、自分を一番大切にしてくれている人に喜んでもらうため」と発想を変えてみてはいかがですか？「自分のためだったらどうでもいいや」と思うことでも、人のためになることだったら人間頑張れるかもしれないですね。